

社務多ク受クモ 財団ノ法堂ノ手査モ外ニ要ルモ其ノ旨
後自己ノ利益ニ依リ 迅捷ニ財団ノ利益ノ支償モ手査モ對
シ 事務ノ唱一工下ノ協定 上同ノ旨 財団法ニ依リ

同法ニ依リ 財団

労働者 七五名 (内女性一六名)

冬加者 七五名

冬田此迄也

職ノ中 年長者同労働者之別 其ノ筆跡ニ依リ 三月十日

賃限五刻 由上外八日 月ノ勤限量ノ提出折衝 其旨一旦

快装之ルカ 同廿日ノ中二回 宜ク 社ノ長協成之旨 財団法ニ依リ

要新戸也

一金 財団法ニ依リ

二 夜業ノ時 二刻ノ支償 財団法ニ依リ
三 傷寒休業中ノ日 財団法ニ依リ
外 財団法ニ依リ

労働者 二七名

冬加者 一二名

冬田此迄也

冬北中一ノ労働者 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ

冬相定者 冬七日 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ

冬三月 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ

冬提出之者 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ

冬財團法ニ依リ 財団法ニ依リ 財団法ニ依リ